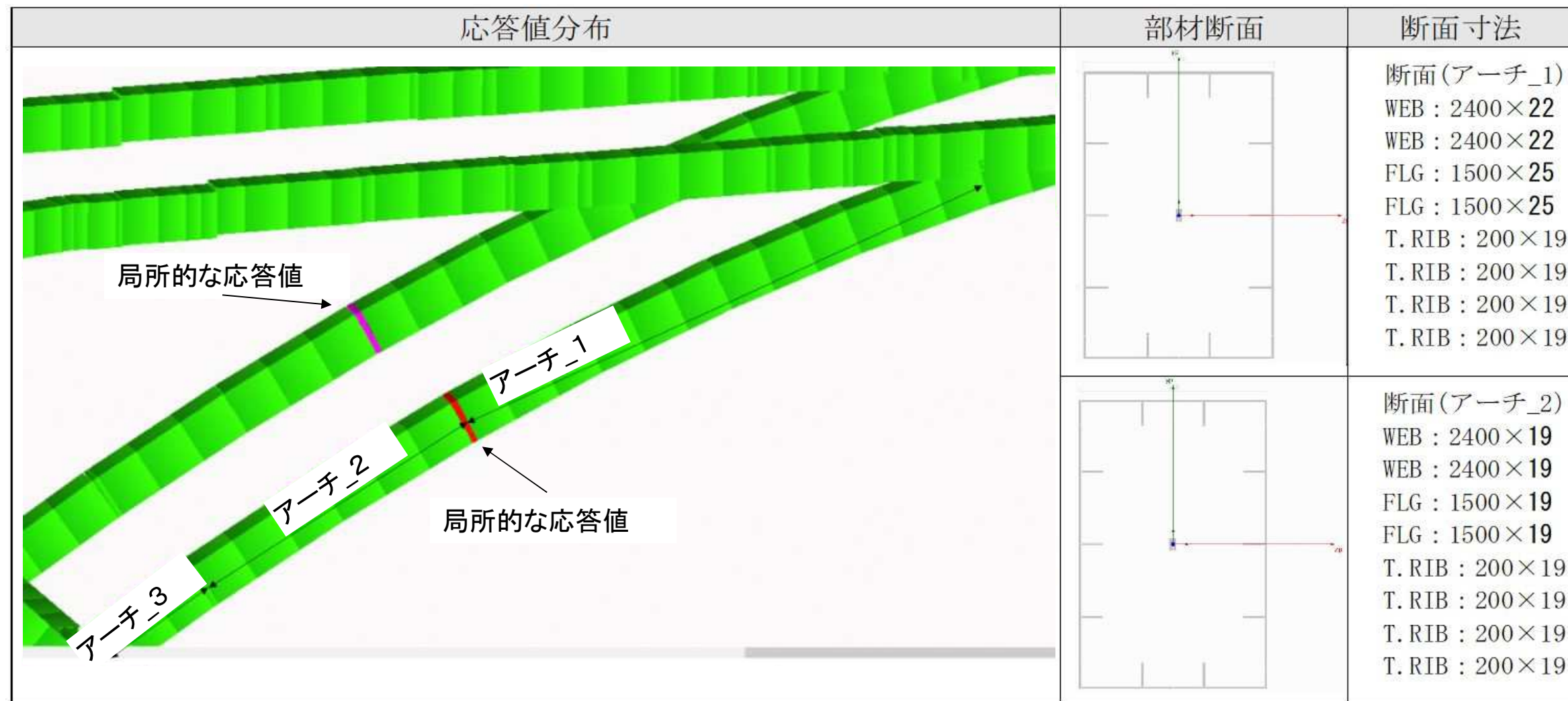
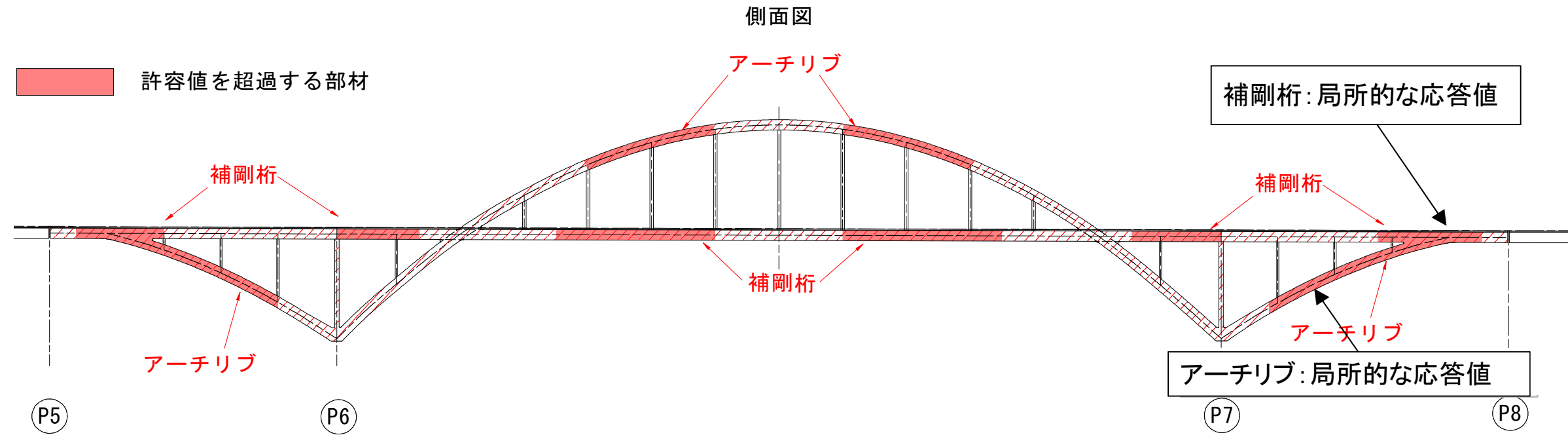


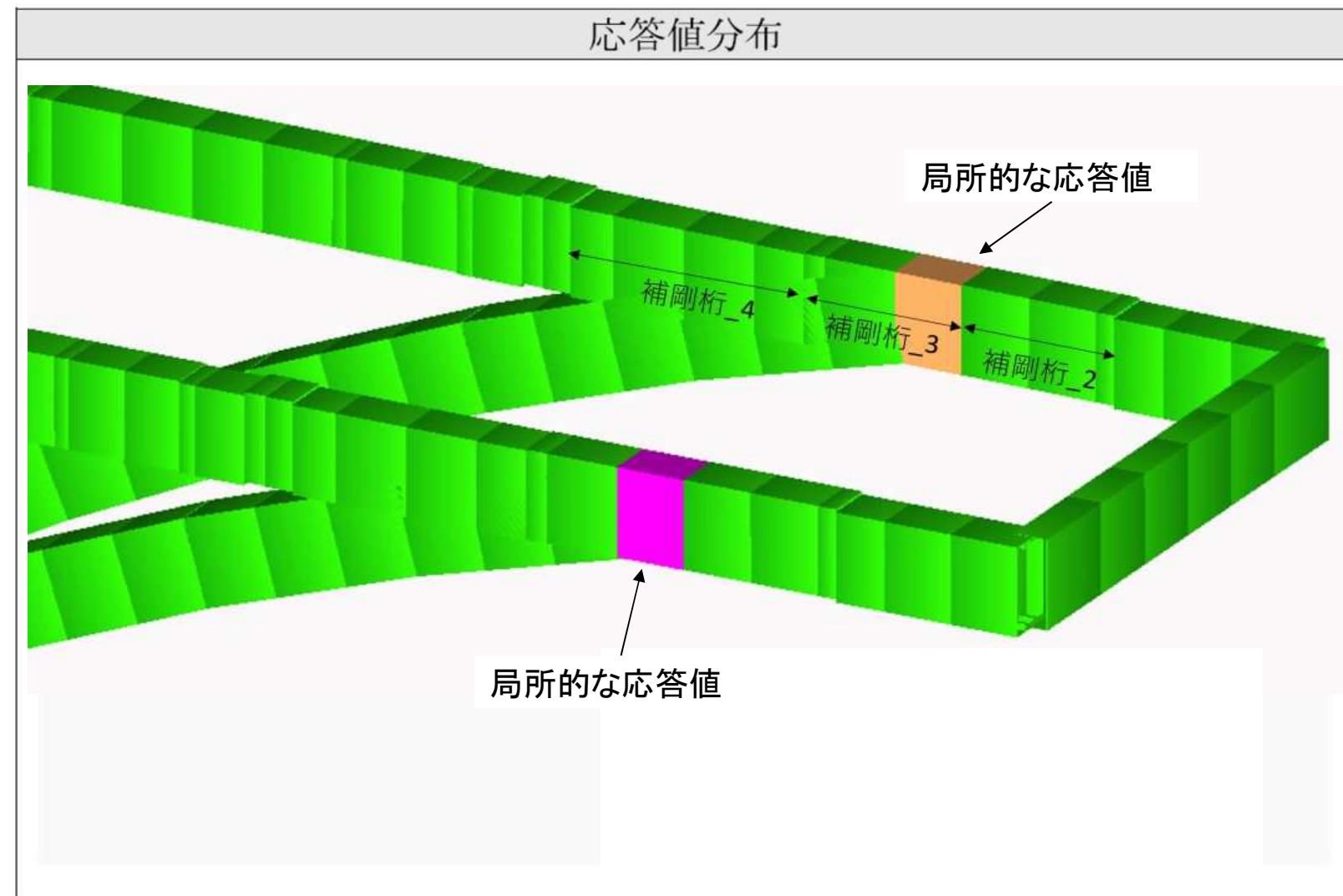
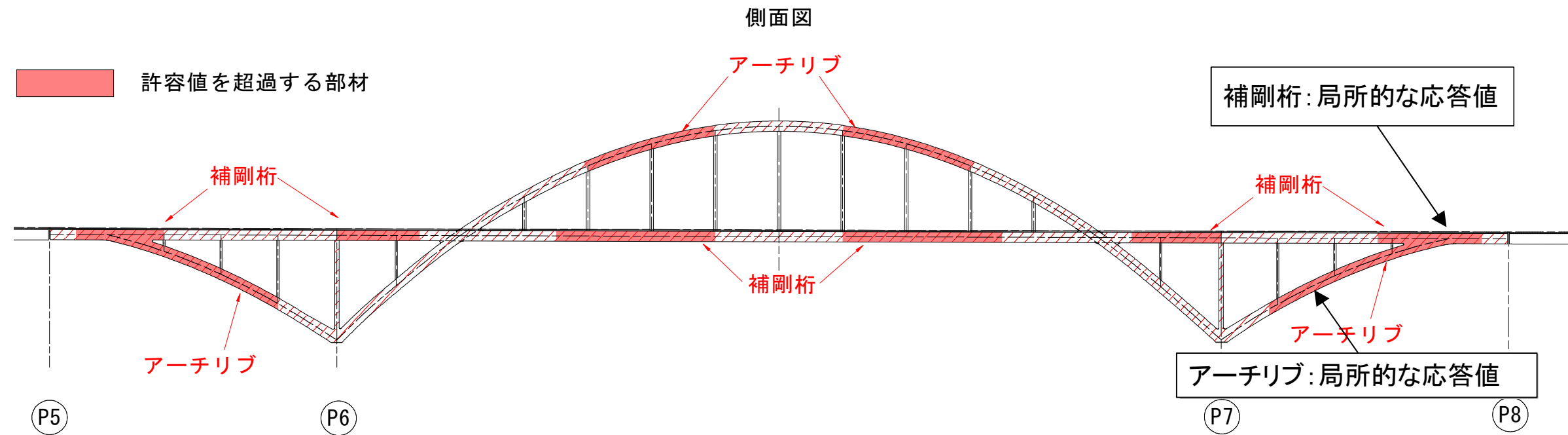
6. 局所的な応答値とその対応 (アーチリブ)



局所的な応答分布と構造諸元 (アーチリブ)

対応策 : 当て板補強検討については、詳細設計に申し送り

6. 局所的な応答値とその対応（補剛桁）

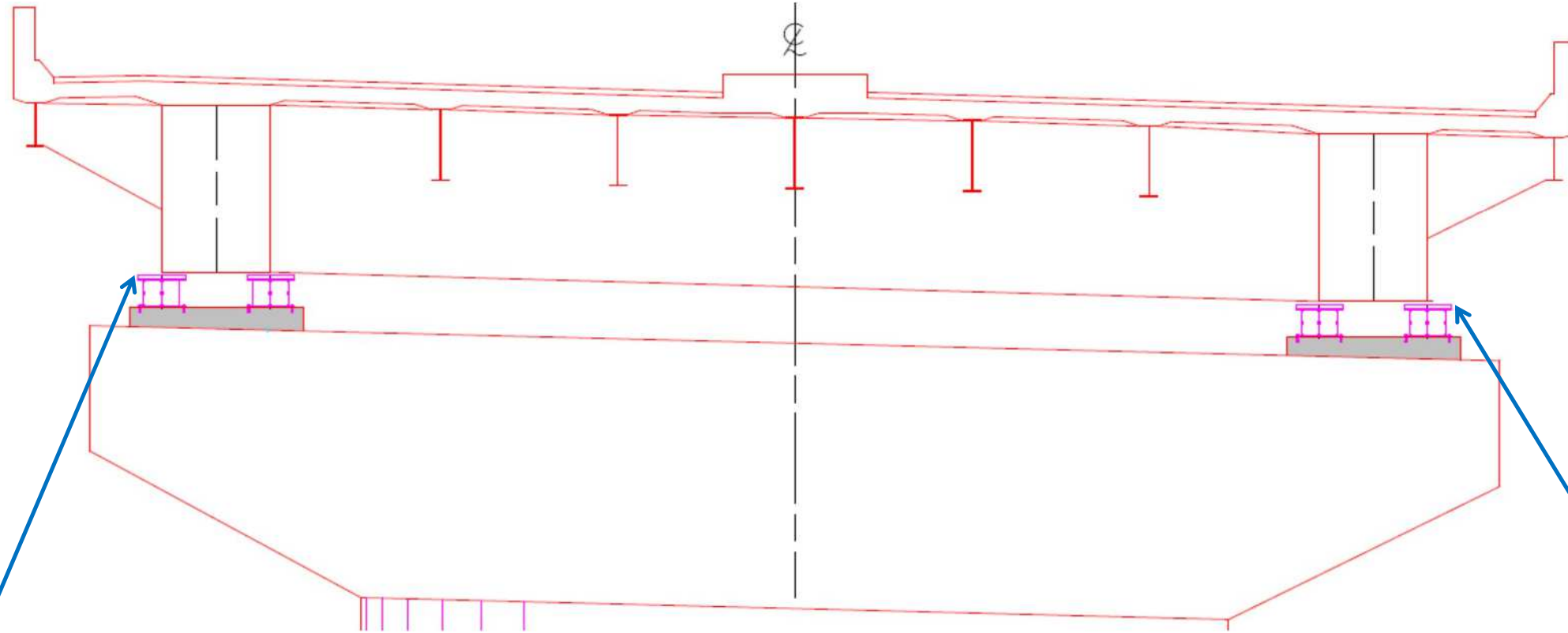


局所的な応答分布と構造諸元（補剛桁）

対応策：FEM解析については、詳細設計に申し送り

7. 桁端部における段差

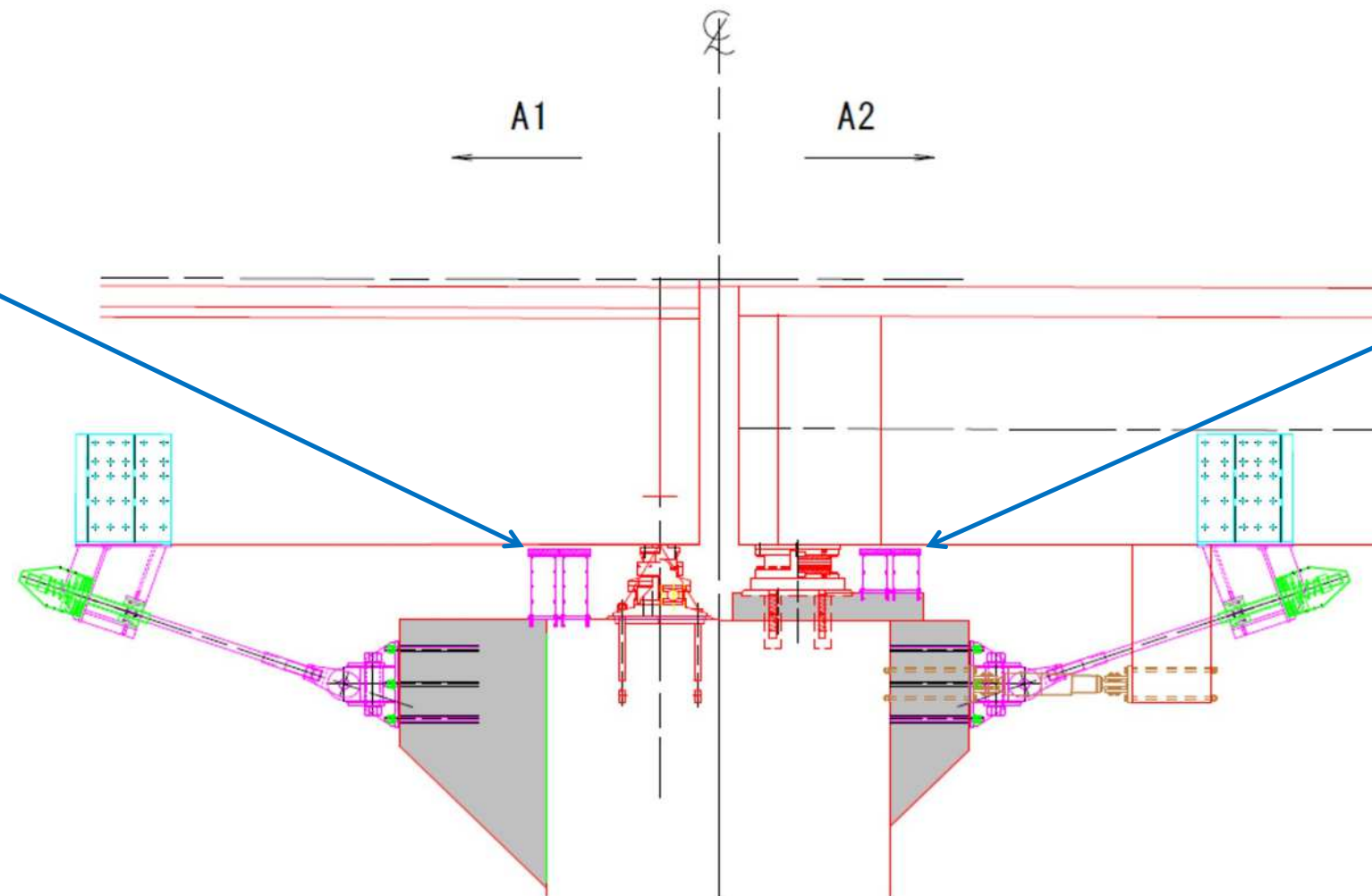
断面図



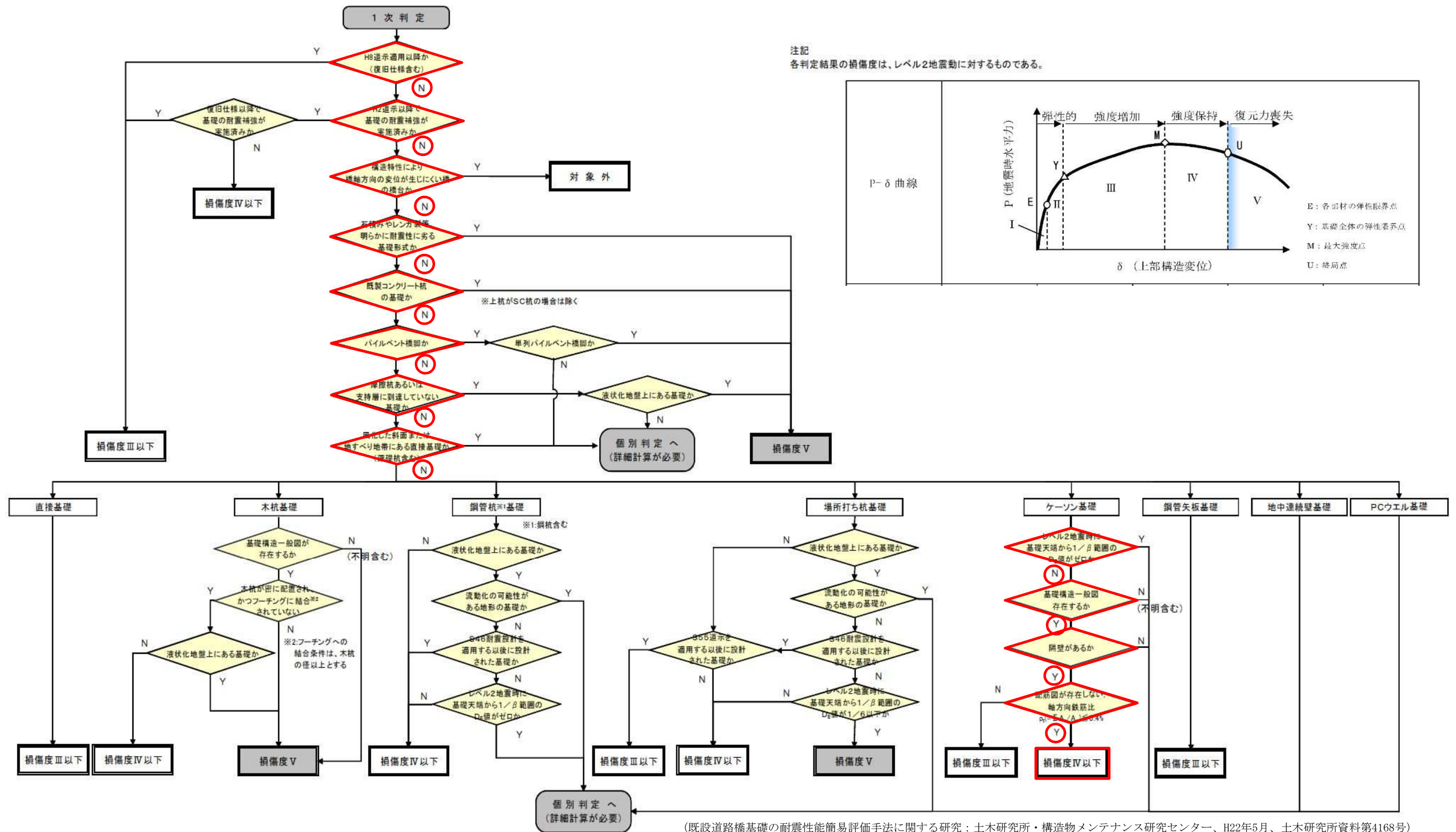
側面図

段差がほぼ生じないように、
段差防止構造を設置

段差がほぼ生じないように、
段差防止構造を設置









8. 基礎の照査



本橋の基礎の損傷度はⅢ以下もしくはⅣ以下となることから、基礎補強工事は当面不要である。

9. 支承の健全性

橋脚位置	P6		P7	
H. 27 点検写真	対策区分 B		対策区分 B	
	進展なし		進展なし	
R. 2 点検写真	対策区分 B		対策区分 B	
損傷評価	健全である			